



祝日は国旗を掲揚しましょう。

皇紀2681年
一 卯 月 一
4 月 号

発行所 生長の家 両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白梅会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎「自然と共に伸びる運動」の実現のため、神においてすべて一体の宗教心を多くの人に広げよう！
◎第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！

内に宿り給う神

生長の家創始者 谷口 雅春

内に宿り給う神にたよる者は幸福である。彼は予め恐怖しない。彼は取越苦勞をしない。

彼は差し迫った時が来れば吾々のうちにどれ程の力がひそんでいるかと云うことを自覚している。世の中には子供を失っただけでさえ、とても彼女は生きられないと思われる程のか弱い母親が、良人を墓穴へ見送り、大家族が一人残らず死んでしまっても自分だけは生きながらえていて、家も亡び、最後の一銭までもなくなつたのに、尚それに耐えて依然として生活を行って行っていると云うような事例がザラにある。必要にブツ突かれれば、吾々のうちに奥深く隠れている力が呼び覚まされて起ち上る。此の力こそ吾等の衷に宿り給う神なのだ。(中略)

内に宿り給う神にたよる者は幸福だ。何物かに値いする程の人間は彼自身のうちに、永遠の向上を目指して自己を駆り立てて止まない力を自己の内に感ずる。自己がそれを好むと好まないとに拘らず、内部の神が外の自己を押し進める。

『生長の家』を書くように自分を押し進めて呉れる力もこの内部の神だ。内部の神がなければ、自分の精力少く見える身体から普通人としての勤労生活の傍ら、この可成り多いページの雑誌が自分ひとりの力でどうして書けようぞ。

自分はこの内部の神に頼って此の事業を進めて行くものなのだ。

『生長の家』誌創刊号 三十一〜三十四頁、原文は旧漢字旧仮名遣い)

「内に宿り給う神」の教え

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

本年三月一日、「立教九十二年生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」が生長の家国際本部で開催されました。上掲のご文章は、当日の総裁先生のお言葉のなかで紹介されたものです。そこでは「必要に迫られると、人間は底力を発揮する」とことについて、「八方塞がりでも、天井は開いている」という生長の家の教えを引用されて、「自分は肉体ではなく神の御心を体現した神の子である、という自覚から問題に取り組めば、解決の道は必ずある」(ブログ『唐松模様』二〇二二年三月一日)とご指導くださいました。そして、その「内に宿り給う神」のご文章にあるように、谷口雅春先生もこの精神と自覚にもとづいて、日本が「昭和恐慌」というコロナ禍の今よりもっと厳しい経済状態のなかで『生長の家』誌を創刊され、生長の家の運動を発進されたことを指摘されたのです。

今回のコロナショックで、私たちの運動も大きな転換を迫られているのですが、私たちは「八方塞がりでも、天井は開いている」という教えと共に、厳しい状況の中でも「必要にブツ突か

れば、吾々のうちに奥深く隠れている力が呼び覚まされて起ち上る」という雅春先生の「内に宿り給う神」の教えを実践する機会が目の前にあるということに気がつかねばならないのです。従来の方法や従来の方向に進めない場合は、新しい方法や新しい方向を開拓し、進んでいけばよいのであります。

(同ブログ二〇二二年三月一日)

私はお言葉を拝聴しながら、コロナ禍において生長の家が実際に取り組んできた新しい試みの数々を思い、あらためて今回の教えとそれを体現する生長の家は本当に素晴らしいと感じました。例えば「講話ビデオ」です。ご存知のように総裁先生、白鳩会総裁先生は九折スタジオ(開設当初は急設スタジオ)から多くのビデオを作成公開くださっています。私たちは昨年五月楽しみにしていた講習会が中止となり、直接のご指導をいただけなかったことを残念に思っていました。今ではいろいろなビデオを通して親しくご指導をいただくことができます。とても有り難く、嬉しいことです。また、森の中のオフィス”の本部講師と本部講師補の講話ビデオも各種作成されてきました。次に、インターネットを活用した「生長の家ネットフォーラム」

の仕組み。これにより私たちは誌友会のように、居場所を異にする複数名と一緒に講話ビデオで教えを学び、感想を話し合うことができるようになりました。一年前では考えられないことです。他にもありますが、私には行において、動画を通して総裁先生ご夫妻と一緒に『大自然讃歌』『観世音菩薩讃歌』『万物調和六章経』を誦読させて頂けるのも、画期的なことだと嬉しくてなりません。また同じく行では、「七重塔に文字を重ねる」ことや、「ペン写経」など新しいことを提唱していただき、自粛期間だから出来ないのではなく、この時になお新しいことが出来て充実し、たいへん有り難く思っています。

これらの新しい工夫や、運動方法や組織のあり方の再検討は、実は谷口雅春先生の『生長の家』誌創刊号の発刊の精神——即ち「必要にブツ突かれれば、吾々のうちに奥深く隠れている力が呼び覚まされて起ち上る」——に学ぶものだと理解していただくと、私たちの内部から勇氣と力が湧き出してくるのではないのでしょうか。
(同ブログ二〇二二年三月一日)

総裁先生のお言葉に、私たち京都第二教区もできると思えました。私たちは総裁先生のご指導の通り、こんな時こそ「内に宿り給う神」の教えを実践しましょう。そして、奥深く隠れている力を呼び覚まして動員し、今で必要な新しい活動を工夫しようではありませんか。こうしてコロナ禍などの困難な状況でも私たちは生活や運動を充実した実り多いものにしていけると強く思いました。

「毎日が新鮮な喜びに満ちている」

青年会事務局長 渡利 あすか

世の中がコロナ禍の混乱に見舞われてから一年以上が経過しました。私はその間、京都府北部から遠方へは出かけず、実家にも一年以上帰っていません。家族との対面はリモートでお互いの近況を報告しあうのみ。けれど、行動範囲が限られた中で、一日に何度も聖經誦読に勤しむ父や畑仕事を楽しむ母、国家資格の勉強に励んだ弟の話などを聞き、皆がそれぞれ日常の中に楽しみや生きがいを見つけている姿に励まされます。私は十数年以上勤めてきた会社で初めて後輩ができ、人に業務を覚えしてもらいながら改めて自分がやってきた仕事に誇りや楽しみを見出しています。今が一番仕事が楽しいと思えます。長年に亘って繰り返してきた仕事であっても、新鮮な喜びを発見できるものだと知りました。このような心持ちになれるのも生長の家のみ教えのおかげだと思います。ありがとうございます！

我が家のエコ生活

両丹道場職員 大塚 啓司

令和元年、母が病で倒れ入院を繰り返すようになりました。家事は母が全て一人でこなしていましたが大正生れの父が代わりに家事を始めると共にエコ生活を楽しんでするようになりました。

父は、洗濯には風呂の残り湯を使い、食材のネギの根元を庭に埋めて育てたり、生ごみは裏に穴を掘って入れ堆肥にするなど工夫する一方で、買い物は地産地消の商品の購入を心がけています。また今まで大きな電灯をつけていた箇所を、手元だけ明るくなる省エネの電気に付け替えたりもしました。本当は、私がいけないといけなのですが、父は頑固な人なので「大丈夫やから」と言っています。私がおうすぐ家に居るようになるまでは、協力して楽しくエコ生活を続けていきます。

そんな父がエコ生活に詳しいのは、普及誌から学んでいるからです。皆様も普及誌を参考にして、自然と人間が調和した新しい文明を目指し、楽しくエコ生活を続けていきましょ。

感謝合掌

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、「自然と共に伸びる運動」の実現のためにご尽力頂いていますことを心より感謝申し上げます。

去る二月二十八日(日) 十時～十時五〇分、ネットフォーラム研修会を開催致しました。参加者は三十九名でした。その中で近藤保男講師が普及誌の読みどころを紹介くださいました。素晴らしい発表ありがとうございました。

また同研修の中で、伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、機関誌二月号の谷口雅春大聖師の法語「人間の善意を信頼せよ」の中で時代の背景を考えながら文章を読むことが大切だと教えて頂きました。そして「新しい文明を築こう」上巻三十頁を勉強させて頂きました。

— 講話と行事のご案内 —

①伊藤夏樹教化部長ご指導の講話について

地方講師・光明実践員研修会の代わりに四月二十八日(水) 十時より伊藤夏樹教化部長の講話がFacebook会員サイトから配信されます。皆様と一緒に視聴して勉強させて頂きたいと存じます。

②地方講師会総会について

令和三年度の地方講師会総会につきましては、前年度と同様、審議事項は関係書類と共に表決書を送付いたしますので返信封筒にて表決書をご返送くださいますようお願い申し上げます。審議事項は、令和元年度の決算報告書並びに令和三年度の予算案の予定です。

※令和三年度の地方講師会費三千円の納入をお願い申し上げます。

令和3年度

春の本部褒賞受賞おめでとうございます

令和3年3月1日(月)、「立教92年生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」は、生長の家総裁谷口雅宣先生、白鳩会総裁谷口純子先生ご臨席のもと、生長の家国際本部にて開催され、その模様がインターネットでライブ配信されました。新型コロナウイルス感染防止のため、本部褒賞者は参列せず、受賞者代表のビデオが紹介されました。京都第二教区からは西日本光輪賞を東舞鶴地区の西村賀代子氏が、布教功労賞を同地区の森下智枝子氏並びに福知山地区の新井弥生氏が受賞いたしました。信徒一同心よりお祝い申し上げます。

西日本光輪賞 西村 賀代子氏



西日本光輪賞受賞
西村 賀代子

合掌 ありがとうございます。
立教九十二年生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典に於いて、西日本光輪賞を受賞させて頂きました。これもひとえに伊藤夏樹教化部長をはじめ諸先生方、信徒諸友の皆様のご指導ご愛念のお蔭でございます。本当にありがとうございますお礼申し上げます。当日は両丹道場でライブ配信される式典の様を視聴しましたが、多くの祝福を頂き、会場にいる様に感動すると同時に、十五年前の立教七十七年の春季記念日に当時の原宿の生長の家本部で国内信徒代表として緊張しながらご挨拶をさせて頂いたことを懐かしく思い出しました。

またぬるま湯につかったような信仰をしていた私を六ヶ月間、朝と夜の神想観にお誘い下さり、『正法眼蔵を読む』をテキストにご指導下さいました故長村婦美子先生に心より感謝申し上げます。これからも感謝の心で偉大な生長の家のみ教えをお伝えして参ります。

感謝合掌

布教功労賞 森下 智枝子氏



布教功労賞受賞
森下 智枝子

合掌 ありがとうございます。
好天に恵まれた三月一日、立教九十二年生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典において、思いもよらぬ布教功労賞を頂くことができました。伊藤夏樹教化部長はじめ、生長の家の多くの先輩方や信徒の皆様を支えられて今の幸福があることに感謝の気持ちでいっぱいです。

十九歳で六人兄妹の長男に嫁ぎ苦勞して私をこの御教えに導いてくれた義母のご仏前に、今回いただいた真紅の花束と賞状をお供えして受賞を報告し感謝しました。この日は主人の月命日でもあり、二人に守られていることをしみじみと感じています。一人生活にも慣れ、主人の残してくれたハウスで時間も忘れて季節の野菜や花を作り、子や孫に送るのを楽しみにして生活していますが、一年でも長く元気でこの生長の家の教えを生きて、これからも人様の為に尽くせるよう一層努力したいと思っております。

感謝合掌

布教功労賞 新井 弥生氏



布教功労賞受賞
新井 弥生

合掌 ありがとうございます。
立教九十二年生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典が、生長の家総裁谷口雅宣先生、白鳩会総裁谷口純子先生ご臨席のもと、森の中のオフィスで開催され、インターネットによるライブ配信を両丹道場で視聴致しました。布教功労賞受賞者七十八名の名前の中に私たちの名前が映し出されたとき、大きな拍手で祝福していただき、嬉しさと同時に身の引き締まる思いでした。栄えある受賞は伊藤夏樹教化部長はじめ、皆様のご愛念の賜物と心より感謝申し上げます。

五十年前程前、故長村婦美子先生のすすめで結婚、三人の子は生長の家の行事に参加し各々が家庭を持ち、現在は孫たちが従兄弟を誘い「神の子無限力」を学んでいます。また多くの人に正しい信仰が伝わりますよう「神・自然・人間は本来一体である」との新しい文明の構築に向け、真心いっばい務めさせていただきます。ただきたいと今、決意を新たにしております。

感謝合掌

令和3年4月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜
五者会議 (10時) 【ネットフォーラム】	〔道場休館日〕	(白) 正副会長会議 (10時)						〔道場休館日〕	(教区) 献劳 (10時)					聖使命感謝奉納祭	〔道場休館日〕	本部・教化部行事
																教化部長
伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	早朝行事担当

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜
〔道場休館日〕 29日振替	☉ 〔道場休館日〕 昭和の日	伊藤夏樹教化部長の講話ネットフォーラム (10時)			(相) 正副・地区連長会議 (10時) 【ネットフォーラム】	谷口輝子聖姉三十三年祭 (10時) 【ライブ配信】		〔道場休館日〕	普及誌仕分け日		(白) 総連会長・対策部長担当会議 (10時30分) 【ネットフォーラム】	住吉神社月次祭 (10時) 【ライブ配信】	先祖供養祭 (10時) 【ライブ配信】	本部・教化部行事
														教化部長
休み	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	早朝行事担当

☆五者会議、各組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、谷口輝子聖姉三十三年祭、先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

☆奉納金ありがとうございます。(敬称略)
 西村 賀代子 50,000円 森下 智枝子 10,000円
 新井 弥生 10,000円
 ☆お賽銭ありがとうございます
 16,591円
 ☆生物多様性募金ありがとうございます。
 1,850円
 ☆浄心行奉納ありがとうございます。
 20,400円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
 3月12日現在、1都3県では、いまだ緊急事態宣言が継続中で日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況です。道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。